

Softfront Report

2015年3月期 第2四半期連結累計期間

(2014年4月1日～9月30日)

トップメッセージ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は、2013年5月10日付で発表した『成長』をテーマとした中期経営方針の下、今期も引き続き『3つの事業領域で成長』と『内なる成長として、収益性と生産性の向上』の2つの重点課題に対する取り組みを更に推し進め、業績の安定と拡大を目指しております。

『3つの事業領域での成長』における第2四半期(2014年4月1日～9月30日)の新たな取り組みは次のとおりです。

既存事業領域では西日本電信電話株式会社が提供する情報機器光BOX+上で利用可能な当社の映像コミュニケーションアプリ「LivyTalk For 光だんらんTVライト」が、NTTアイティ株式会社が提供するクラウド型遠隔健康相談サービス「ひかり健康相談」に新たに採用されました。引き続きNTTグループや電力系通信事業者に注力し、特にスマートフォン/タブレット上でのIP電話やテレビ電話の案件に対応してまいります。

サービス事業領域ではデジタルポスト関連事業の強化・拡大を引き続き進めております。また、当社の保有する技術資産やノウハウを通じ、スタートアップ企業の事業成長をサポートする取り組みとして、新たにKDDI株式会社との業務提携と、株式会社アピアリーズとの協業を実現いたしました。

海外事業領域ではベトナム現地法人SOFTFRONT VIETNAM CO., LTD.(ソフトフロント ベトナム)において、当社で受注したソフトウェア受託開発の一部を同社に委託することによって、お客様にとって魅力ある価格での開発サービスを提供し、案件受注の拡大に貢献し始めております。また、ベトナム国内での市場展開として、日本発の当社ソフトウェア製品群、サービス等の販売に向け活動を開始しました。今後、ベトナム国内での収益を期待しています。

『内なる成長として、収益性と生産性の向上』に関しては、2014年6月1日に東京本社と札幌本社に分散していた国内の開発機能を東京本社一拠点に集約し、効率性及び生産性の向上を図っております。更に、ベトナム現地法人の開発力を活用して、グローバル化によるコスト低減と開発力増強を引き続き進めております。今後も更なる収益性と生産性の向上に全力を尽くしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年10月30日

代表取締役社長

阪口克彦

営業概況

当第2四半期連結累計期間(2014年4月1日～2014年9月30日)の当社グループを取りまく環境につきましては、当社グループの事業に係る通信関連分野において、スマートフォン/タブレット需要の拡大、高速通信を可能とするLTE(Long Term Evolution)やWi-Fi関連などのモバイルサービスの進展、株式会社NTTドコモによるLTEネットワーク上で音声通話サービスを提供するVoLTE(ボルテ;Voice over LTE)サービスの提供開始、格安なネット接続需用に応える仮想移動体通信事業者MVNO(Mobile Virtual Network Operator)の躍進、LINEをはじめとする新たなコミュニケーションツールの台頭などがありました。

これらのネットワーク・インフラの充実や新たなサービスの登場を背景として、特に法人需要においては、BYOD(Bring Your Own Device)をはじめとするスマートフォン/タブレットを利用した新たなソリューション市場が拡大しつつあり、また、IP電話技術及びテレビ電話技術の様々な分野への普及がより進展すると見込まれております。

このような環境の下、当社は『成長』をテーマとした中期経営計画を2013年4月からの3カ年を対象として推進しており、2014年3月期はその2年目にあたります。当該中期経営計画の一環として、2014年6月に国内の開発機能の拠点統合を実施、その後、2014年7月1日に本店を札幌市から東京都港区に移転し、国内1拠点体制として効率性及び生産性の向上を図っており、新体制によるビジネス展開が始動した状況であります。また、2013年8月に設立したベトナム現地法人SOFTFRONT VIETNAM CO., LTD. (ソフトフロント ベトナム)につきましては、開発拠点としての体制強化を着実に進め、既に従業員数では日本を上回る規模に急成長しており、当社グループ全体として開発コストの低減に貢献しております。更にサービス事業においては、スタートアップ企業の事業成長をサポートする取り組みを本格的に進めており、提携企業の数、提携する業界の種類を拡大し、新たな事業創出に向けた取り組みを進展させております。

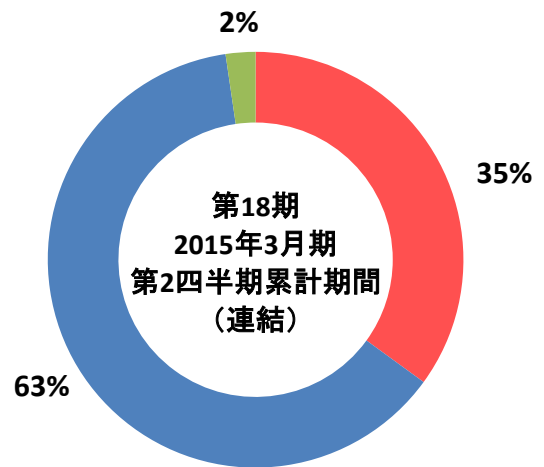
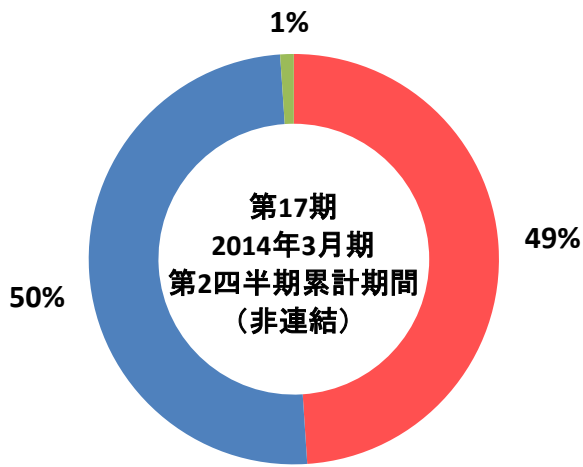
これらの施策は順調に進展しておりますが、それぞれの成果が現れるまでには一定の時間を要することもあり、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高118,805千円、営業損失239,957千円、経常損失240,789千円、四半期純損失242,942千円となっております。なお、各四半期連結会計期間の売上高を比較すると、第1四半期連結会計期間が43,488千円、当第2四半期連結会計期間が75,317千円であり、その増加率は73.2%と着実に伸びており、引き続き、上記各施策を確実に実行することにより、売上の拡大に努める所存であります。

引き続き、通信事業者分野での受注拡大を図るとともに、サービス事業ではデジタルポスト関連事業をはじめとする他社との協業・業務提携を進め、ビジネスの拡大を目指します。また、ベトナム現地法人SOFTFRONT VIETNAM CO., LTD. と連携して売上原価の低減を図るとともに、予算管理の徹底により販売費及び一般管理費を削減し、全般的なコスト削減を図ってまいります。

財務ハイライト-1

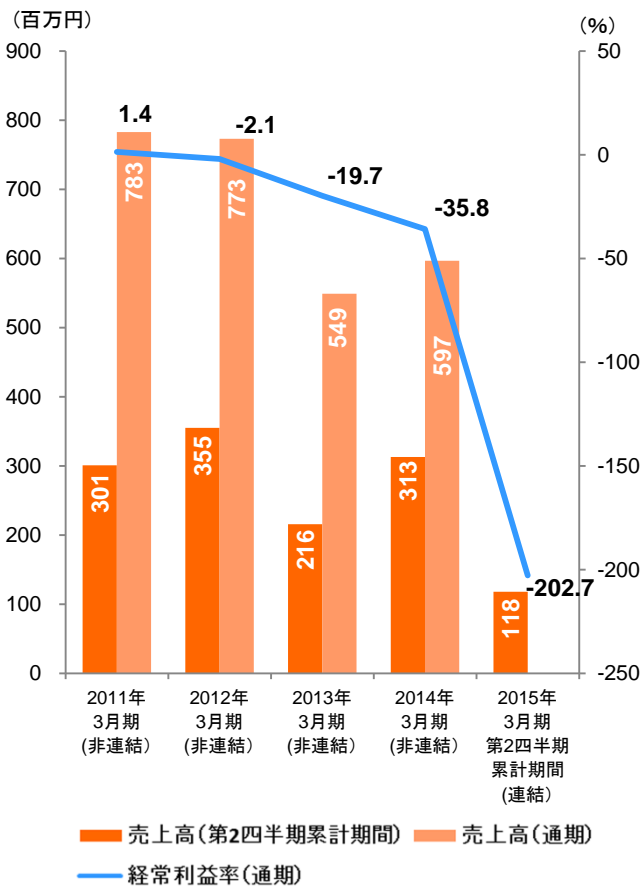
当社は当期より連結財務諸表を作成しているため、前第2四半期及び前期以前の財務情報は単体の財務情報を記載しております。

売上高の構成

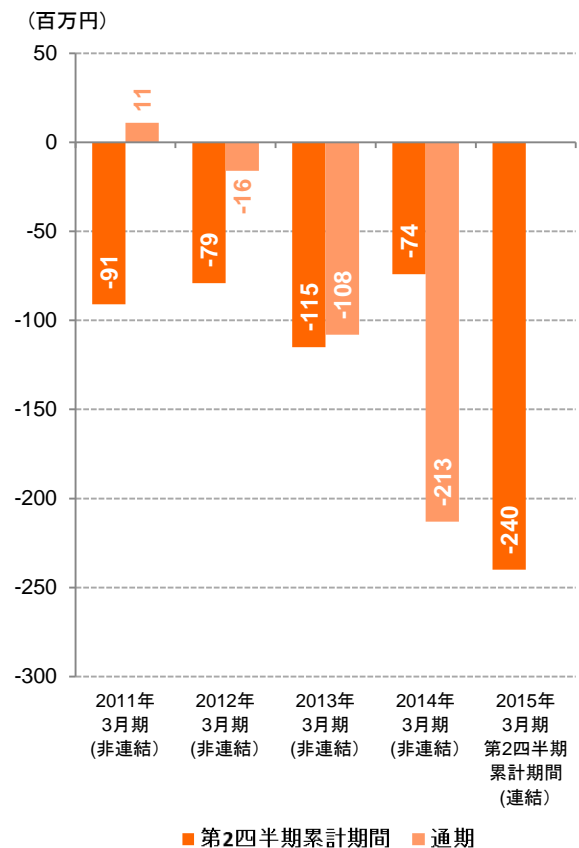


■ ソフトウェア販売 ■ 受託開発 ■ その他

売上高／経常利益率

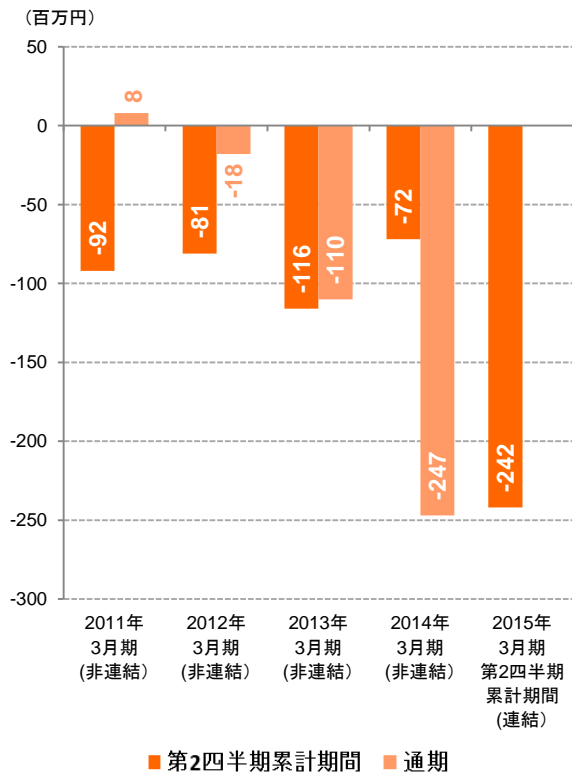


経常損益

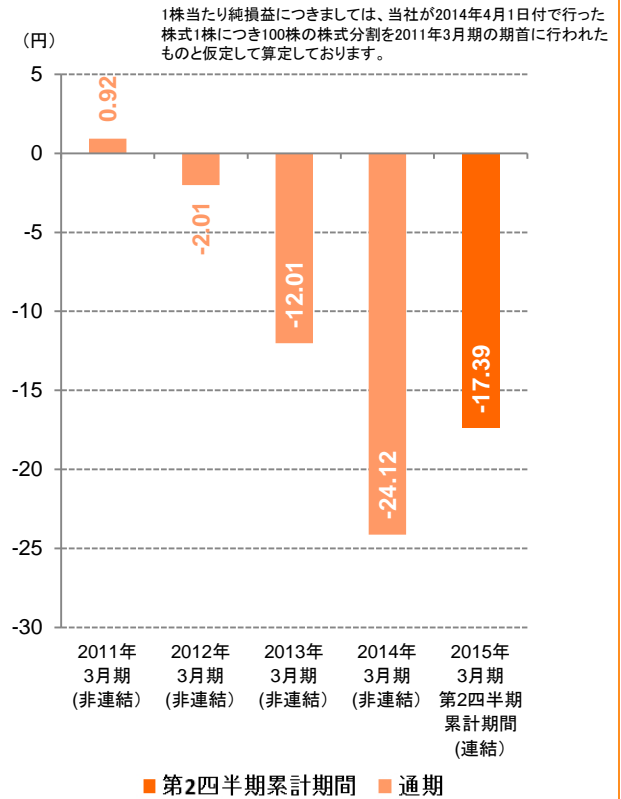


財務ハイライト-2

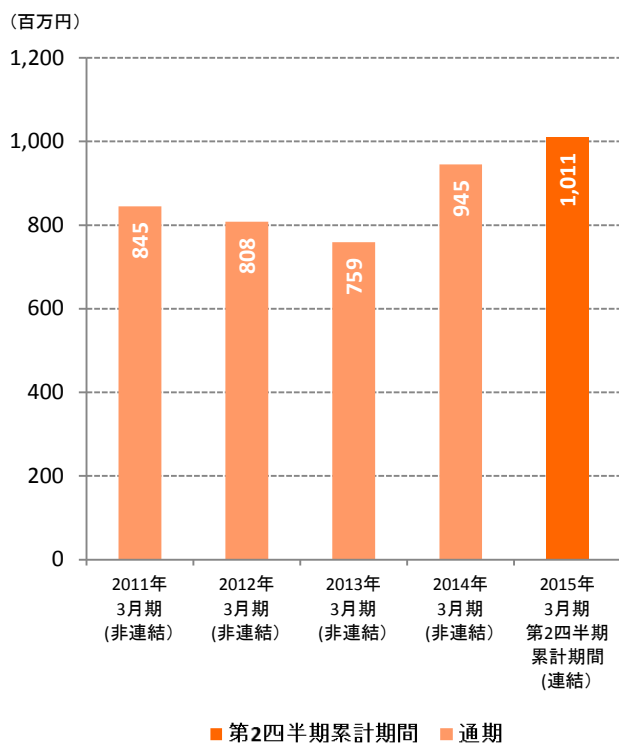
純損益



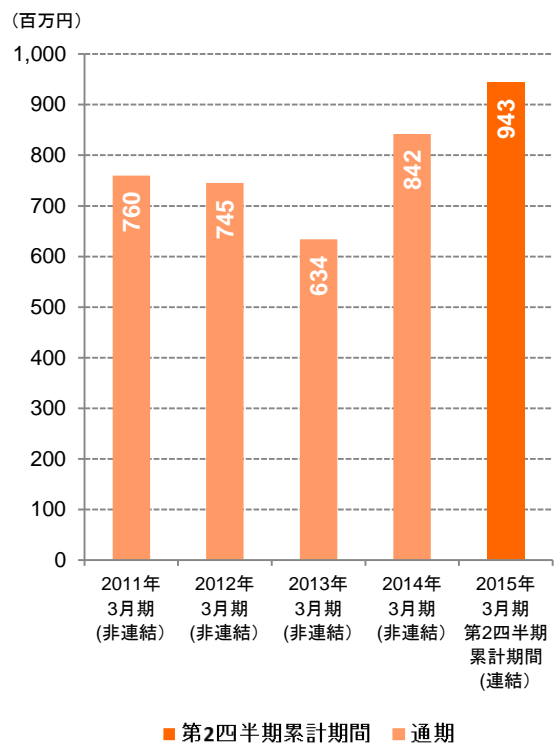
1株当たり純損益



総資産



純資産



財務諸表

■ 四半期貸借対照表

(単位:千円)

当第2四半期
会計期間末(連結)
2014年9月30日

前第2四半期
会計期間末(非連結)
2013年9月30日

前事業年度末
(非連結)
2014年3月31日

資産の部

I 流動資産	810,838	405,865	692,190
II 固定資産	200,556	314,272	253,290
有形固定資産	13,545	14,069	10,892
無形固定資産	145,950	202,594	156,076
投資その他の資産	41,060	97,607	86,321

資産合計	1,011,395	720,137	945,481
------	-----------	---------	---------

負債の部

I 流動負債	45,970	58,123	79,300
II 固定負債	21,965	—	24,000

負債合計	67,936	58,123	103,300
------	--------	--------	---------

純資産の部

I 株主資本	940,905	658,720	837,002
資本金	3,196,761	2,842,483	3,019,263
資本剰余金	2,978,921	2,624,643	2,801,423
利益剰余金	△5,234,714	△4,808,406	△4,983,684
自己株式	△64	—	—
II その他の包括利益累計額	2,548	—	—
III 新株予約権	5	3,293	5,178

純資産合計	943,459	662,013	842,180
-------	---------	---------	---------

負債純資産合計	1,011,395	720,137	945,481
---------	-----------	---------	---------

財務諸表

■ 四半期損益計算書

	当第2四半期 累計期間(連結) 2014年4月1日- 2014年9月30日	前第2四半期 累計期間(非連結) 2013年4月1日- 2013年9月30日	前事業年度 (非連結) 2013年4月1日- 2014年3月31日
(単位:千円)			
I 売上高	118,805	313,420	597,326
売上原価	111,308	134,894	328,083
II 売上総利益	7,497	178,525	269,243
販売費及び一般管理費	247,455	250,635	477,053
III 営業損益	△239,957	△72,109	△207,810
営業外収益	860	33	68
営業外費用	1,691	2,816	6,218
IV 経常損益	△240,789	△74,892	△213,960
特別利益	—	3,610	3,610
特別損失	1,246	—	35,000
V 税引前四半期(当期)純損益	△242,035	△71,282	△245,350
法人税、住民税及び事業税	907	1,210	2,420
VI 四半期(当期)純損益	△242,942	△72,492	△247,770

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書

	当第2四半期 累計期間(連結) 2014年4月1日- 2014年9月30日	前第2四半期 累計期間(非連結) 2013年4月1日- 2013年9月30日	前事業年度 (非連結) 2013年4月1日- 2014年3月31日
(単位:千円)			
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△122,855	13,714	△4,865
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,269	△77,184	△144,962
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	345,378	51,500	435,295
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	1,105	—	—
V 現金及び現金同等物の増減額(△:減少)	195,358	△11,969	285,467
VI 現金及び現金同等物の期首残高	517,327	213,810	213,810
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	712,685	201,841	499,278

株式の状況

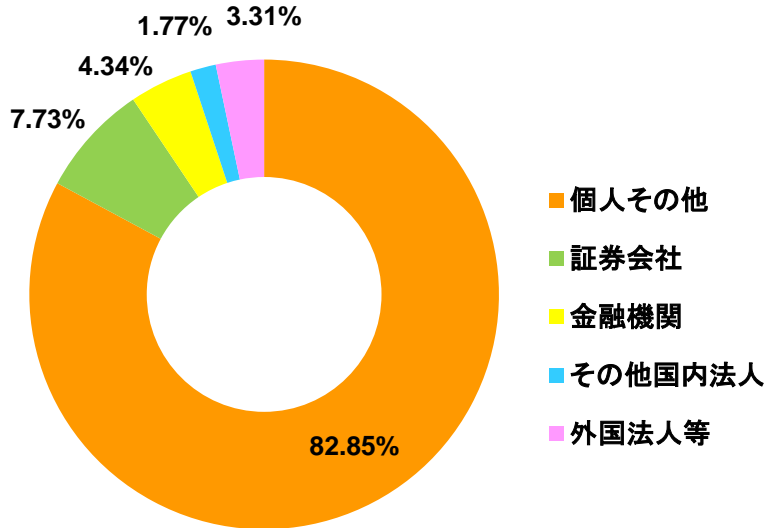
株式の状況

(2014年9月30日現在)

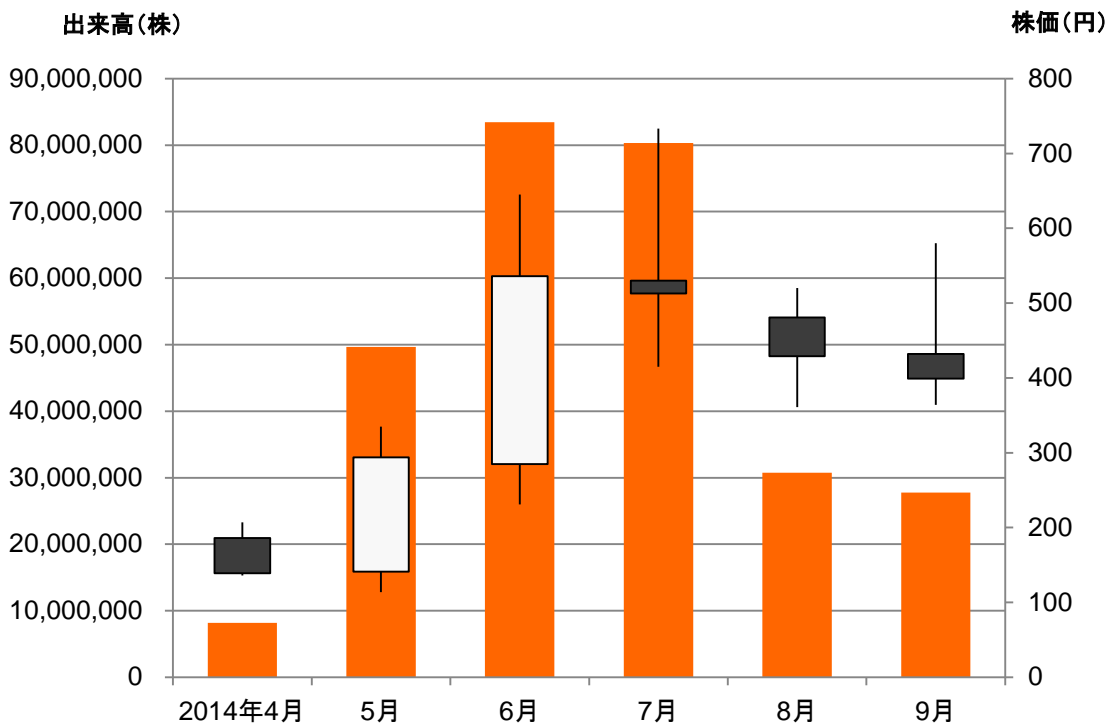
発行可能株式総数 : 32,440,000株

発行済株式数 : 14,586,697株

株主数 : 8,833名



株価・出来高推移状況





〒107-0052 東京都港区赤坂4丁目2-19
赤坂SHASTA・EAST 3F
TEL:03-3568-7007 FAX:03-3568-7008